



午前10時0分 開会

○委員長（大口浩志君） ただいまから総務常任委員会を開会いたします。

今回、閉会中の委員会ですので、特に必要のない場合は、市長、副市長には出席を求めているので、御了承をお願いいたします。

また、換気のため、会議室の出入口については開いたまま進めさせていただきたいと思しますので、御協力をよろしくをお願いいたします。

倉本総合政策部長、戸川総務部長から欠席の報告を受けておりますので、お知らせをいたします。

最初に、今回が新体制での初めての委員会ですので、委員、執行部、それぞれ簡単に自己紹介をお願いしたいと思います。

それでは、下山委員からお願いいたします。

○委員（下山哲司君） 下山です。もう総務ばかりずっとおりますので、ひとつよろしくお願ひします。

○委員（実盛祥五君） 実盛です。よろしくお願ひします。

○委員（佐藤 武君） 佐藤です。よろしくお願ひします。

○委員（松田 勲君） 松田です。よろしくお願ひします。

○副委員長（安藤利博君） 安藤です。よろしくお願ひいたします。

○委員長（大口浩志君） 委員長を拝命いたしました大口と申します。重鎮の方、ベテランの方ばかりなので、気づけば一番若造の私が委員長職を拝命することになりましたので、御協力かたがた、よろしくお願ひいたします。

それでは、執行部、自己紹介よろしくお願ひいたします。

○財務部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 杉原部長。

○財務部長（杉原洋二君） それでは、執行部の自己紹介を席順でさせていただきます。

なお、先ほど委員長からもございました、総務部長、総合政策部長は本日欠席をいたしております。総務部長は戸川、総合政策部長は倉本でございます。

私、財務部長の杉原と申します。よろしくお願ひいたします。

○総合政策部参与（岡本和典君） 総合政策部参与、岡本です。よろしくお願ひします。

○赤坂支所長兼市民生活課長（小坂憲広君） 赤坂支所長の小坂です。

○熊山支所長兼市民生活課長（稲生真由美君） 熊山支所長の稲生です。よろしくお願ひいたします。

○吉井支所長兼市民生活課長（中務浩行君） 吉井支所長の中務です。よろしくお願ひします。

○消防長（井元官史君） 消防長の井元です。よろしくお願ひします。

- くらし安全課長（正盛充敏君） くらし安全課長の正盛です。よろしくお願いします。
- 総務課長（花谷晋一君） 総務課長の花谷です。よろしくお願いします。
- 秘書広報課長（小引千賀君） 秘書広報課長、小引です。よろしくお願いいたします。
- 政策推進課長（山崎和枝君） 政策推進課長、山崎です。よろしくお願いいたします。
- 財政課長（原田幸子君） 財政課長、原田です。よろしくお願いいたします。
- 管財課長（大窄暢毅君） 管財課長の大窄と申します。よろしくお願いします。
- 税務課長（田渕忠則君） 税務課長の田渕です。よろしくお願いいたします。
- 消防総務課長兼通信指令室長（檜原秀幸君） 消防総務課長兼通信指令室長の檜原です。よろしくお願いします。

○委員長（大口浩志君） ありがとうございます。

皆様、これから2年間よろしくお願いいたします。

それでは改めまして、これから協議事項に入ります。

本日の進め方ですが、まず事業の進捗状況について、部ごとに順番に通して説明をしていただきます。全ての部からの説明が終了後、質疑を一括して受けさせていただきます。

次に、その他についても同様にさせていただきます。

まず、協議事項1番目、事業の進捗状況について、総合政策部から順番に説明をお願いします。

○秘書広報課長（小引千賀君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 小引課長。

○秘書広報課長（小引千賀君） それでは、(1)シティプロモーションへのDX活用について御説明いたします。

資料2ページを御覧ください。

民間企業から人材の派遣を受け、SNSを使ったシティプロモーションをテーマに知見を生かした施策を実施する事業につきましては当初予算計上に当たって御説明したところですが、派遣元の企業が決定し、5月から受入れを開始しております。民間からの専門人材受入れに当たっては、企業とのマッチング、財源確保の目的に応じて2つの国の制度を活用しております。

人材受入れに当たって協定を締結いたしました派遣元企業は、日本情報通信株式会社です。総務省の制度で特別交付税措置を受ける要件を満たすため、5月1日付で派遣協定を締結しております。協定期間は令和6年度末までです。なお、派遣された職員は秘書広報課でDX活用推進監として週3日勤務していただきます。

総合政策部からは以上です。

○委員長（大口浩志君） 続いてよろしくお願いいたします。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） 総務課から地域情報通信基盤設備の譲渡に向けた交渉について御報告をします。

総務部資料の2ページを御覧いただければと思います。

この地域情報通信基盤設備は、平成22年度に市が赤坂地域、熊山地域の一部及び吉井地域に光ケーブルなどの設備を整備しまして、電気通信事業者である西日本電信電話株式会社岡山支店に貸し付けることで、平成22年12月1日から同エリアの光インターネットサービスの提供を開始しております。12年を経過した現在でも同様の形式で事業を継続しておりますことは、皆様御承知のことと思います。

この事業の継続にはIRU契約を締結しておりまして、関係当事者間の合意のない限り破棄または終了させることができない長期安定的な使用权を定める契約形式となっております。要するに、一方的に契約解除ができない形での契約ということになっております。

この地域情報通信基盤設備につきましては、整備後10年を経過した時点で補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律、いわゆる補助金適化法の第22条の財産の処分の制限を解除することが可能であることから、西日本電信電話株式会社岡山支店を含めました第三者への譲渡が可能かどうか調整を開始させていただくもので、お知らせするものでございます。

この譲渡の交渉につきましては、交渉段階におきまして、まずは光ケーブルや電柱添架などの調整をしております。それは占用先との調整をしておりますわけですが、自設電柱などは、個人のお宅にも電柱を建てさせていただいたり、ケーブルや電柱の所有者が赤磐市から民間の会社になるといった場合に引き続き土地を使用させていただけるかどうか、そういう照会をしていくような形になります。個人の方にも照会をしていくので、そういう話があるという声をお耳にすることがあろうかと思っておりますので、お知らせをさせていただくものです。

資料の下段には、参考のために当時の施設の整備事業費や令和3年度の決算、本年度の予算額を記載させていただいておりますので、よろしく申し上げます。

以上で地域情報通信基盤設備の譲渡に向けた交渉についての御報告を終わります。

総務課からの報告は以上となります。

○くらし安全課長（正盛充敏君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 正盛課長。

○くらし安全課長（正盛充敏君） くらし安全課から(2)令和5年度岡山県水害対応訓練について御報告をさせていただきます。

総務部資料3ページを御覧ください。

この訓練は、令和5年5月31日水曜日に午前9時から午後5時の予定で、岡山県の主催により水害対応訓練を実施するものでございます。

実施の内容につきましては、平成30年に発生した西日本豪雨をモデルに線状降水帯による集

中豪雨を想定し、全市町村で訓練が実施されることとなっております。令和5年度におきましては、吉井川水系として赤磐市が特定市町村として認定されており、赤磐市でも実際に災害対策本部の設置や避難所開設訓練などを予定しております。

この訓練を通して岡山県や自衛隊との連携なども検証していく予定としておりますので、御報告とさせていただきます。

くらし安全課の報告は以上でございます。

○財務部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 杉原部長。

○財務部長（杉原洋二君） それでは、財務部の説明をさせていただきます。

財務部資料の2ページをお願いいたします。

管財課の案件であります。

(1)赤磐市役所本庁舎等整備事業についてでございます。

本庁舎等の改修につきましては、昨年10月28日に工事請負契約締結の議決をいただきました。その後、足場の設置工事、コンクリートの躯体の取り壊し、内装の除去などの工事を進めるよう計画いたしておりましたが、当初段階において現地調査、また現場を進めていく中でいろいろ変更点がございました。

北側の工事区域の変更、天井裏から過去に設置した不明な線が多数出てきたこと、そしてまた重油タンク、合併浄化槽などの残骸が土の中に残っていたことなどで、追加調査や設計変更が生じているところでございます。また、年明け早々にはコロナの第8波、これの防衛策として初期段階で作業員を投入することを抑制し、着工を一時見合わせたことなどがございました。これによりまして、今現在3か月から4か月の工程の遅れが生じているところでございます。これは、あくまでも全体の工期、令和7年1月末の範疇で遅れているものでございます。

今後はこの遅れを取り戻すべく、2期工事、庁舎西側の1階部分でありますとか中央公民館、保健センター、これの工事を一部重複させて施工するなどの策を講じ、進捗のアップを図ってまいります。

今現在の工事の内容につきましては、資料2ページの(1)の①に外構、内装及び躯体の解体、アウトフレーム設置に向けたくい、基礎工事などを進めているところでございます。

資料の3ページには、本庁舎の今現在の1階部分の内観、続きまして4ページには2階部分、5ページには3階部分の様子を図面と写真でつけております。

6ページは外構回り、外回りの様子でございます。

庁舎北側のアウトフレームのくいを30メートル打ち込んでいる状況の写真などをつけております。

今後、このような施工の状況を当委員会にも視察をいただきたく、現在日程の調整をしているところでございます。また、工事の進捗状況につきましては、市内の小中学校の社会見学へ

のフィールドの提供、市民向けの見学会なども計画したいと考えているところでございます。  
今後もタイムリーな各種の情報発信に努めていきたいと考えております。

庁舎の改修工事につきましては以上です。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） それでは、財務部資料の続き、(2)赤磐市公共施設等総合管理計画の改訂について以下、管財課から御説明をさせていただきます。

資料は7ページをお願いいたします。

去る3月6日から20日にかけてパブリックコメントを実施し、1名の方より5件の貴重な御意見をいただき、該当箇所につきましては所要の反映をさせていただいております。

なお、以前当委員会でも、より本計画が実効的なものとなるよう御意見を頂戴したところでございまして、それらも十分に念頭に置き、適宜、適正な評価、分析、こういったものを行いながら公共施設等の効果的な管理を今後も推進してまいりたいと考えております。

次に、(3)国有財産（旧食糧事務所）の取得についてでございます。

資料は戻っていただきまして、2ページの中段あたりを御覧ください。

これにつきましては、令和4年12月補正予算で998万5,000円を取得費用として計上させていただきます、この予算の範囲の中で全5回のうちの2回見積書を国へ提出いたしました。いずれも予定価格に達せず、現在不調となっております。

今後は、残り3回の見積り提出の機会を見据えまして、応札価格を再検討した上で当財産の取得を目指していくものと現在考えております。

最後に、(4)イベントの御案内でございます。

2ページに概要をお示ししておりますが、あさって21日日曜日、桜が丘いきいき交流センター南側の臨時駐車場などを活用しまして、RAREAS MARKETが開催されます。

これは、主には桜が丘エリアのにぎわい創出、それから通常未利用地の有効活用、こういったものを目的としまして平成30年から過去6回開催されているものでございます。コロナの影響から休止となっておりますが、このたび約4年ぶりに開催される運びとなりました。資料の8ページから10ページまでにチラシを掲載しております。

主には市内、市外から約35以上の飲食、雑貨などの店舗が軒を連ねることと聞いております。この日はほかでも多数イベント等の開催がある模様でございますが、委員の皆様、御都合等よろしければ、お誘い合わせの上お立ち寄りいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

財務部からの説明は以上でございます。

○委員長（大口浩志君） それでは、各部の説明が終わりました。

ただいまの説明について委員から質疑はございませんか。

松田委員。

○委員（松田 勲君） 最後に言われたマーケットの件ですけど、これ21日っていつ決まったんですか。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） いきいき交流センターの土地を活用するということで、行政財産の使用許可をさせていただいております。その使用許可があったのが一月ほど前だったように記憶しております。

以上です。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） この21日というたら、朝から桜が丘の連合運動大会ですよ。大窄課長、よく御存じだと思うんですけど。何で同じ日にするのかなど。

ここのバスが今なくなるとるから、結構ここに車を置いたりして東小学校に行かれると思うんですけど、置けないということですよ。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 先ほども御説明しましたとおり、会場自体はいきいき交流センター南側の臨時駐車場を活用してやられます。

それから、その臨時駐車場の南側の現在未利用地となっております市有財産、こちらを駐車場に活用してやられるということで聞いております。連合の運動会が同日開催されるということは承知おきしておりますが、実行委員会形式でこちらのマーケットをやられるということで、その辺は計画されたのだと認識しております。

以上です。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 駐車場はしょうがないにしても、この時期に連合の運動会をやるのに、1か月前だったらもうちょっと地域との調整をすればよかったんじゃないかと思う。せっかく久しぶりにされるので、結構楽しみにされる方もおるんです。何でよりによってネオポリスのど真ん中で、この同じ日の同じ時間帯にあえて持ってこられたのか。もうちょっと地域との調整をすればよかったのと思うんですが、どんなんでしょうか。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 実行委員会が主体的に決められていることなので、ちょっと調整

不足であったことにつきましては実行委員会へは申し伝えたいと思います。また、桜が丘の連合運動会はたしか午前中だったと思いますので、こういう状況にはなりましたが、午後からでもお手隙のときに来ていただければと思います。

実行委員会には市からも、こういった御意見が出たことは申し伝えたいと考えております。  
以上です。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） このマーケットも大きなイベントで、楽しみにされてる方も結構おられるんです。私も何回か行ったことあるんですけど。でもやっぱり、せっかくするんだったら地域の情報も実行委員会に提供して調整された上ならいいんですけど、調整も何もなしにされたんだったら、やはり問題があるのではないかなと思うんですけど、その辺いかがでしょうか。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 実行委員会と私が直接お話をさせていただいてないので、その辺の詳細は確認したいと思いますが、そういった調整不足の点につきましては、きちんとお話をさせていただきたいと考えております。

以上です。

○委員長（大口浩志君） よろしいですか。

そしたら、今後は委員からの御指摘のように、日にちはどうしても土日を中心になると重なることがあると思いますので、いろんなところをにらみながら、日程調整はこれを肝にさせていただいて、今後いろんなことがあると思いますので配慮をしていただけたらということでもよろしいですか。

ほかに。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 総務課のNTTの光の関係ですけど、令和3年度と令和5年度が載ってますけど、令和3年度までは何とかマイナスにはならなかったけど、令和5年度は今のところマイナスと理解したらいいですか。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） 令和5年度も令和3年度もなんですが、予算上は組んだら比較的マイナスの予算が出るような状態になっております。その中でも、この予算の中には電柱の移転とか、支障移転のときにそれをかわしてあげる費用とかも含まれているんです。予算につきましては大抵1,000万円程度の予算を組んでいたと思うんですが、それが年度ごとにどのくらい要るかによってプラスになるかマイナスになるかということで、予算を全部使い切れればマイ

ナスになるわけですが、通常予算が余りますのでプラスで今までも推移してきた。だから、令和5年度予算を組ませていただいておりますが、マイナスになるかプラスになるかというのは、今年度一年やってみて、支障移転がどのくらい出るかによってマイナスになるかプラスになるか決まってくるということです。

ですから、維持管理費が増えているというよりは、支障移転がどのくらい毎年出るかによって、プラス、マイナスが決まってくるという形になります。

以上です。

○委員長（大口浩志君） よろしいですか。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 要するに、この令和5年度というたらまだこれからなんで、これはあくまでも予想ですよ。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） あくまでも予算額をそこへ記載させていただいておりますので、予測ということです。よろしくお願いいたします。

以上です。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 今後、利益もそう見込みがないという中で、10年も超えたから民間に引き渡すことも可能という条件が整ったんで、そうさせていただくということですか。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） 整備しまして10年たちますと、これに関しては民間へ渡しても補助金上のペナルティーがなくなります。それまでに渡しますと補助金適化法、補助金を返せと国から来るわけですが、その制約が取れたということでどのくらい、どういうふうにやったら渡せるかというのを交渉していく中で、市民の方々にそういう情報が出てしまうので、あらかじめお知らせをさせていただいたものでございます。よろしくお願いいたします。

○委員（松田 勲君） 分かりました。

○委員長（大口浩志君） よろしいですか。

ほかに。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 平成22年度ということで、ちょっと私も知識がないんですけども、

要するに第三者への財産の処分の譲渡ということで、市がいわゆる投資をしてるということになると思うんですが、これは無償で譲渡ということになるんですか。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） この譲渡につきましては、国が定めております資料がございまして、あくまでもこの地域情報通信基盤設備につきましては、民間がサービスを提供できないエリアに対し、公設で光ケーブルを整備するものということです。

この事業の趣旨は、失礼な言い方をするんですが不採算地区ということでございます。この想定の中では、協議の中で条件は整えていくわけですが、無償でという場合ばかりではございません。今後不採算であるということであれば、それは両者協議をして負担金を払って譲渡するケースが発生します。どちらかというとうそういうケースが多いと伺っております。譲渡価格につきまして適正な価格を両者合意の上でということになるんですが、そういうケースが発生するということで御承知おきいただきたいと思います。よろしく申し上げます。

○委員長（大口浩志君） よろしいですか。

ほかにございせんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 秘書広報課でデジタルトランスフォーメーションのことで、協定を結ぶんですけれども、地域独自の魅力や価値の向上等につながる業務と書いてるんですけれども、具体的にどういうものを予定されてるか教えてください。

○秘書広報課長（小引千賀君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 小引課長。

○秘書広報課長（小引千賀君） 御説明をさせていただいておりますとおり、SNS等を使ったシティプロモーションをテーマに秘書広報課ではさせていただこうと思っています。広報もそうですし、シティプロモーションもそうです。今、DXをなくしてはなかなか考えづらいところもございまして。効率を上げたり、市民の方に情報をお伝えするための手段として活用していきたいと思っております。

これだけではなく、庁内全体のDXについての御相談なりも受けていただく予定としております。

○委員長（大口浩志君） よろしいか。

○委員（佐藤 武君） はい、よろしいです。

○委員長（大口浩志君） ほかにございせんか。

○副委員長（安藤利博君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 安藤副委員長。

○副委員長（安藤利博君） 佐藤委員の質問の関連ですけど、一昨日、京都産業大学の学生が赤磐市の地域活性化のヒントを探るといふ新聞記事が出ておりました。それと去年、民間の副業人材活用に関する連携協定を結んだということで、この中身は情報発信の方法であるとか企業版ふるさと納税についてとか、何か3つほど想定して、このときは多分無料だったと思うんですけど、そういった提言をしていただくということがあったと思うんです。その結果は昨年、報告があったんでしょうか。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 京都産業大学のお話、それから昨年度、副業人材の活用を先ほどおっしゃられましたように無償でいろいろアドバイスをいただくという事業をさせていただいております。

京都産業大学につきましては、昨年度の学生については今年と同じような時期にフィールドワークに来ていただき、それから赤磐市の課題、情報発信だけでなくいろんなことを、どういったことが課題なのかというようなことを、まずは現場を見て考えていただき、秋ぐらいにもう一度自分たちでテーマを決めて、例えば空き家ですとか、情報発信というのが観光情報等の発信の仕方とか、いろいろテーマをお決めになられて、またフィールドワークに来られました。そのフィールドワークに来られた内容についていろんな政策提言をさせていただく内容については2月に実際また来ていただいて、そのときにいろいろインタビューをされた方等に対して、また市の一部の幹部にはなります、関連する部署の方々に対しての提言をしていただきました。

もちろん提言をしていただいた内容全ては、市の施策ですぐに取り組めるもの、取り組めないものもあるんですけども、費用もかかったり時間がかかったりというようなこともありますが、取り入れられるものについては、せっかくいただいた御提案を基に政策に生かしていこうとさせていただきます。こちらの委員会には特に御報告はさせていただきます。申し訳ございません。

それから、副業人材につきましては、先ほどおっしゃられましたように、企業版ふるさと納税、それからシティプロモーション、それから消防の採用についてのノウハウ等の知見をいろいろと御提案いただきまして、そちらも年度末にはなりますけれども成果の発表をしていただきました。もちろん期間も短いということもありますし、実際こちらに来てというのは1回来ていただいたような形にはなりますが、いろいろな専門的な知識をお持ちでありましたので、本年度については特に予算化はさせていただきます。いただいたアドバイスをそれぞれ生かすような形で政策に取り入れる予定にはしております。

以上です。

○委員長（大口浩志君） よろしいか。

○副委員長（安藤利博君） はい。

○委員長（大口浩志君） ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大口浩志君） ないようですので、事業の進捗状況につきましてはこれで質疑を終わります。

続いて、協議事項2番目、その他について総合政策部から順番に説明をお願いします。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） それでは引き続きまして、総合政策部資料の3ページを御覧いただきたいと思います。

2、その他、令和5年6月議会定例会提出予定議案について、(1)令和5年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）についてでございます。

政策推進課の関連といたしましては、歳入として総務費補助金、内訳が2件あります。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金並びに官民連携基盤整備推進調査費補助金を計上させていただいております。

歳出でございますが、①生活交通対策事業、②拠点整備推進事業の2事業について補正を計上させていただく予定にしております。

総合政策部からは以上です。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） それでは、総務課から令和5年6月議会の予定議案について御説明いたします。

総務部資料は4ページを御覧ください。

(1)専決処分承認を求めることについて、まずは御説明をいたします。

専決処分内容につきましては、赤磐市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の施行でございます。職員が新型コロナウイルス感染症患者もしくはその疑いのある者に接して行う作業、救急活動や医療行為がそれに当たるわけですが、それに対して特殊勤務手当が支給されていたところでございますが、この令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律上の5類感染症に位置づけられたということで、国家公務員の特殊勤務手当について定めた人事院規則が改正されました。同日付で当該特殊勤務手当が廃止されたところでございます。

市におきましても、国に準じ、この条例から特殊勤務手当を同日付で廃止する必要が生じたということで、専決処分という形で改正し、施行をさせていただいたものでございます。

施行日は令和5年5月8日と同日でございます。

以上で専決処分の承認を求めることについての説明を終わらせていただきます。

続きまして、(2)令和5年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）について概要を説明させていただきます。

総務課の補正予算につきましては引き続き4ページでございますが、1件だけ歳出補正を予定させていただいております。議会用タブレットの執行部用を追加購入させていただくことを予定しております。

総務課からは以上です。

○くらし安全課長（正盛充敏君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 正盛課長。

○くらし安全課長（正盛充敏君） 続きまして、くらし安全課の補正予算について御説明させていただきます。

総務部資料の5ページを御覧ください。

くらし安全課の補正予算は歳入2件、歳出2件を予定しております。

①コミュニティ助成事業につきましては、防災倉庫や備品購入等の計画が行われた自主防災組織に対し、一般財団法人自治総合センターから助成金の決定を受けましたので、これに伴い支出させていただくものであります。

②につきましては、防災無線の聞き取りが困難な地区に放送設備の増設に係る工事費を計上させていただいております。この事業につきましては、緊急防災・減災事業債の対象となることから、歳入歳出の計上をさせていただいております。

以上で総務部の説明を終わります。

○財政課長（原田幸子君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 原田課長。

○財政課長（原田幸子君） 財務部の説明をさせていただきます。

財務部資料11ページを御覧ください。

その他といたしまして記載いたしておりますとおり、財政課から6月議会定例会への一般会計の歳入補正予算2件の提出を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。

財務部からは以上です。

○消防総務課長兼通信指令室長（檜原秀幸君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 檜原課長。

○消防総務課長兼通信指令室長（檜原秀幸君） 消防本部資料2ページをお開きください。

初めに、令和5年度一般会計補正予算について説明をさせていただきます。

一般財団法人自治総合センターが行うコミュニティ助成事業の決定により、市女性防火クラブの器材整備に係る経費を1件計上させていただいております。

続きまして、(2)操法大会についてでございます。

令和5年7月2日曜日に第69回岡山県消防操法訓練大会が開催され、赤磐市から吉井方面隊第1分団第1部が小型ポンプ操法の部に出場いたします。

なお、今回の岡山県大会はコロナが5類になったとはいえ、コロナ前とは違い大会会場への入場制限や時間制限がございますので、大会当日の応援の御案内を現在消防団と協議中でございます。誠に勝手ながら議員の皆様への御案内を差し控えさせていただくこととなるやもしれません。含みおきくださいますようお願いいたします。

また、壮行会についても現在調整中でございます。詳細が決まりましたらお知らせをさせていただきます。

次に、(3)吉井川総合水防演習についてでございます。

開催日時は令和5年5月27日土曜日、和気郡和気町原、吉井川河川敷で国土交通省中国地方整備局、岡山県、赤磐市を含む近隣市町主催の総合水防演習を開催します。

赤磐市消防団が水防工法訓練に参加し、土のう積み工法等、完成させるまでの一連の訓練を実施します。入場は無料で、一般来場者の駐車場も用意されております。見学や体験等もございますので、ぜひ御参加をください。

以上でございます。

○委員長（大口浩志君） その他について、各部の説明が終わりました。

ただいまの説明について委員から質疑ございませんか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大口浩志君） それでは、その他についての質疑を打ち切りたいと思います。

そのほか、委員または執行部から何かございましたら発言をお願いいたします。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 本日、机の上にこちらのパンフレットをお配りさせていただいております。

令和3年度にあかいわの大地（ジオ）ということで地質のマップを作らせていただいております、その第2弾のマップができました。こちらは、いろんな地質を歩くモデルコースなども記載させていただき、それからどんな地質があるかというようなものを記載させていただいております。

こちらが、図書館とか公民館とか支所とかそういった所にも置かせていただいておりますので、報道等でもいろいろと御紹介をいただいておりますので、また今年もかなり欲しいという方もおられますので、議員のお知り合いの方で欲しいという方がおられましたら、ぜひお声掛けいただきたいと思います。

なお、ホームページにもデータは載せさせていただいておりますが、これが1枚物として

はA2の裏表ということで、やっぱりパンフレットのほうがいいという方もおられるようですので、何かありましたらお声掛けをいただきたいと思います。

以上です。

○委員長（大口浩志君） ありがとうございます。

○副委員長（安藤利博君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 安藤副委員長。

○副委員長（安藤利博君） 今のジオのパンフレットですけど、去年から非常に好評で、去年の分も増刷だそうですけど、この地球史研究所の乙藤先生が中心になって作られたんだろうと思うんですけど、あさって日曜日には血洗の滝に見学会みたいなものがあるし、それから最後の土曜日だったかな、コロナで中断してた地球史研究所でのサロンも再開されると私も案内いただいたんですけど、非常に赤磐市のためにとっていい活動をしていただいていると思うんです。

今年の予算の中に、金額ちょっと忘れちゃったけど、そのジオツアーのガイド講習とかがたしか入ってたと思うんですけど、これは具体的に今、中身とかは決まっていってるんでしょうか。分かる範囲といいますか、決まってる範囲で教えていただけませんか。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 本年度につきましては、先ほど安藤副委員長も少し触れていただいておりますように、ツアーガイドを養成する講座を開いていきたいと思っておりますが、なかなか1年でというのは難しいので2年かけまして、本年度については今までもコロナで、さっきもおっしゃられましたがサロンなども開けていなかったということもあるので、再度市民の皆様方——市外の方も結構ですけれども——を対象に公開講座を5回行う予定にしております。

第1回目は6月の中旬ぐらいに公民館でさせていただき、それからこちらのガイドマップにもそれぞれの地域でのモデルコースなども紹介させていただいておりますので、それぞれの地域でも公開講座をさせていただいて、締めで最後にもう一回まとめをするというようなことを本年度させていただき、次年度以降については実際にこういう地質、それから観光情報なども含めたガイドができるような人材育成をしていきたいと思っております。

また、講座を開催する前には広報等、こちらの委員会でもお知らせをさせていただく予定にしております。

以上です。

○委員長（大口浩志君） よろしいか。

○副委員長（安藤利博君） ありがとうございます。

○委員長（大口浩志君） ほかにございませんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 立派なガイドマップができとるんですけど、この観光パンフレットも人気のあるところですけども、政策推進課だけの範疇ではないと思うんですけども、先ほど副委員長からもお話が出ました血洗の滝も非常に歴史がある部分だと思うんですけども、いざ見に行ったところ、非常にトイレ等が汚なくて利用する気にはならないといったような声とか、観光案内の看板であるとか説明板も何もない、休憩する場所もないというような声がちょこちょこ届くんですけども、関心を持って見に行かれる市民の方もいらっしゃる中で、やはり最低限の案内板であるとか気持ちよく利用できるトイレ等は、改修をお願いしたいなというふうに思っておりますので、赤磐市全体の取組になると思いますけれども、そこら辺も含めて検討いただければと思います。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） おっしゃられますように、観光の分野にはなりますので、私が整備しますということを宣言できないんですけども、先ほども少し触れさせていただいたんですが、ジオにしても観光資源にしてもそれぞれの単品でいろいろとPRしていくということではなく、関係部署と連携しながらしていく必要があると思います。せっかくこのように、例えばジオの切り口からこういうのを作って見に行っていた方が残念な気持ちなられるのは不本意ではございますので、観光部署ともしっかり連携をして地域全体を盛り上げていきたいと考えております。

先ほど御指摘いただいた件につきましては、担当部署のほうにもつながせていただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

以上です。

○委員長（大口浩志君） ほかにございませんか。

○副委員長（安藤利博君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 安藤副委員長。

○副委員長（安藤利博君） 私ばかり出しゃばって申し訳ないんですけど、一般質問で取り上げるレベルのものじゃないことを、せっかくこういった機会ですのでいろいろまたお問合せさせていただきたいと思うんです。

一つは、この前県議選がありました。地区別の投票率というのは瞬時に出していただいて非常にありがたいんですけど、残念ながら桜が丘地区の投票率が非常に低いということもすぐ分かるんですけど、今一番問題になってるのが、若い人が投票に行かない。若い人の投票率をどうやって上げるかというのが全国的な課題だろうと思うんですけど、肝腎の年代別の投票率が、この前お聞きすると分からないということですけど、これ例えば投票所への入場券、これあたりから投票された方の年代を把握するということが不可能なんでしょうか。何らかの方法

を取って、やっぱり年代別の投票率ぐらいは集計するべきじゃないかなと思うんですけど。技術的なものも含めて、その辺いかがでしょうか。可能であれば何か工夫していただければと思うんですけど。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） 確かに年代別の投票率を算出するには、期日前投票につきましてはシステムによって投票管理をしておりますから、その年代別というのは出そうと思えば出せる作業になります。また、当日につきましては、名簿をもって選挙の受付をしておりますから、その名簿をめくって誰が選挙に来たかというのを1人ずつチェックしていけば出ていくわけなんです。全て手作業になります。ということで、基本的にはどの市も、その選挙がどうだったかということをあまり詳しくはしておりません。今、県議選の投票が年代別にどうだったかというのは、岡山県からそれぞれの標準的な市町村の投票所、そこの投票がどうだったのかという調査が来ている中で、県がまとめて今回の選挙はどういう傾向にあったかというのは統計を出されます。それが今現在調査中ですので、それが出れば県のホームページに載ってくるのではなかろうかなと思っております。したがって、今のところ選挙管理委員会で名簿を皆めくってどの年代が多いかという作業までは選挙ごとにしていないという状況でございます。

以上です。

○委員長（大口浩志君） 安藤副委員長。

○副委員長（安藤利博君） 一々手作業は、1万、2万の数ですからこれは不可能だと思うんです。県が集計するというのは、これはサンプルでやられるということですね。

それと私が素人考えで思いついたのは、先ほど言ったように、投票券と交換のときに入場券を持っていきますよね。それにその年代が分かるような仕組み、それから集計は簡単に機械でできると思うんですけど、入場券のほうにそういったのが分かるような仕掛けというのは不可能なんでしょうか。それぐらいしか私では思いつかないんですけど、何らか方法を考えないと、県のサンプルだけというのは寂しいような気がするんですけど、いかがでしょうか。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） 県の考え方としましては、例えばの話ですが赤磐市、19投票所があります。その中で一つの投票所を標準的なものを抜き取ってくださいということでその報告をする。それを統計学的な話になりますが、サンプル数を多く集めるとより数字としては近くなるというやり方で統計をされておりますので、より岡山県全体の投票所の傾向、そういうものが見えるような数字を出していくというやり方をされておりますので、全くやらないというわけではなく、そういう依頼があったものに対してお答えをさせていただいているものでございます。名簿をめくる作業も入場券を1枚ずつ数える作業も大して変わらないのかなというふ

うに思っております、それで集計をするということは今のところは市の選挙管理委員会では考えておりません。

○委員長（大口浩志君） 安藤副委員長。

○副委員長（安藤利博君） いや、手作業でやるとかということは一切考えてません。そんな作業は職員さんも負担ですから。そうじゃなくて、機械的にカードリーダーか何かで自動的に読み取れるということを入場券に何か記載して機械で読み取るということではできないんでしょうかということの検討をお願いしますと。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） 当然ながらバーコードがついてますから、それを全部読み込ませて集計かけていけば出ますし、当然ながら当日入場券をお持ちでなくても投票ができるような仕組みになっておりますから、そういう方は手作業で作業していけば済む話ですから、何に数字を使っていくかというのがありますが、しようと思えばできるという状況です。

○委員長（大口浩志君） よろしいか。

○副委員長（安藤利博君） できるのであればやっていただきたい。これは私の個人の希望ですけど。ありがとうございます。

次、別でよろしいでしょうかね。

○委員長（大口浩志君） はい、どうぞ。

○副委員長（安藤利博君） 実は今日が締切りだと思うんですけど、防災無線の聞こえにくい方、避難行動要支援者に対して戸別受信機を貸与しますという募集をされてました。これ、広報あかいわで4月号と5月号と2回載せていただいているんですけど、町内会長から情報をいただきまして福祉推進委員をやっているものですから個別に紹介してきました。

具体的に言うと、桜が丘東4丁目で人数は46人ですけど世帯にすると33世帯です。施設とかに入られて分からない方、連絡取れない方がいるんですけど、28人に紹介してまいりました。残念ですけどほとんど広報を見られてないんで、そういったことがあるという方、その名簿に載っかってる方が御存じなかったんです。一応、分かる範囲では紹介させていただいたんですけど、これ300台準備されてると思うんですけど、今どのくらい申込みがあったか分かりませんが、そんな感じで御存じない方、多分結構いらっしゃると思うんです。私のところはそんな状態だったんで。

仮に、その300台に達してなかったら延長で募集されるとかということは可能でしょうか。

○くらし安全課長（正盛充敏君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 正盛課長。

○くらし安全課長（正盛充敏君） 先ほどの御質問に対しまして、本日を締切りに募集をかせせていただいております。現在のところ300台には達しておりません。ただ、こちらの事業

につきましては台数が決まっているということで、一定期間の広報期間と締切りを設けさせていただいております。この締切りまでに達した場合は抽せんという形になりますが、現在のところ達していないということで、引き続きこの広報につきましても随時継続させていただきながら、300台に達するまではしっかりPRし発信していきたいと考えておりますので、事業はそのまま続けさせていただきたいと考えております。

以上です。

○委員長（大口浩志君） よろしいか。

○副委員長（安藤利博君） ありがとうございます。

○委員長（大口浩志君） ほかにございませんか。

○副委員長（安藤利博君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 安藤副委員長。

○副委員長（安藤利博君） 昨年、尼崎市でUSBメモリーが紛失した事件がありました。

4月27日に今度は釜石市で職員間でデータを見てたというのがテレビで報道されてました。その中身が市民3万2,000人ですか、マイナンバーカードとか収入額とか保育料の滞納情報とかそういったのが見える状態になって、外には出されたんじゃないんでしょうけど職員間でそういったものを見回していたということを報道されてました。

尼崎市の事件のときも質問させていただきましたけど、インターネットで外部とは通じてないシステムだということをお聞かせいただいた記憶があるんですけど、個人的な研修とかはもちろんされるべきですけど、やっぱりシステムのそういうのが外部に持ち出せない、あるいはUSBとかそういったものを取り出せない、ハード的にそういった防止策を講じておかないと、尼崎市で起こった、釜石市で起こったということは起こっちゃまずいんですけど赤磐市でも起こり得ると思うんで、その辺のハード的な防御システムといいますか、その辺をもう一度どういうふうにされてるのか。聞くところによると、USBは差し込めないようなパソコンであるとか、データを取り出せないような、去年お伺いしたのではパスワードを設定してますとかあるんですけど、それはパスワードが知れ渡ればもうパスワードにならないんで、その辺のハード的な防御策というのはどの辺まで行われてるんでしょうか。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） 住民情報とかその辺の紛失の話がされたのだと思います。回答が漏れていたらすいません。

1つ目に、住民情報システムの詳細には申し上げにくいんですが、まず住民情報を扱っている住民情報系のシステムにつきましては、USBは刺さりますが認識しません。ですので、データを持ち出すことは不可能です。

2つ目に、USBでデータをやり取りすることがあるかということに対しまして、住民情報

のデータをUSBでやり取りすることはありません。

3つ目に、USBをもし方が一使うときはどうなるのかというと、パスワードはその都度変わるような仕組みになってます。ですので、このUSBはこのパスワードというような認識ではなく、このパスワードは常に変わっているというようなUSBを運用しておりますので、パスワードが同一のものということにはなりません。

お答えになってるかどうか分かりませんが、以上とさせていただきます。

○副委員長（安藤利博君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 安藤副委員長。

○副委員長（安藤利博君） 質問してるほうもよく分からないのが質問してるんでかみ合わないかと思うんですけど、テレビでコメンテーターさんがおっしゃってた中で、シングルサインオンというのがあって、システムの動作記録とか誰がアクセスしたとか、そういったのが全部瞬時に分かるようなシステムになってるとか、それを取り入れている自治体がどのくらいあるのかなということはおっしゃってたんですけど、釜石市のケースは職員間で見回してといますか、データを見てたというケースらしいんで、そういったことができないような仕掛けというのができないのかなと、素人考えで申し訳ございませんけど、いかがでしょうか。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） 赤磐市の運用としましては、職員それぞれがパスワードを持っておりますので、何時何分に誰が立ち上げた、誰が切ったというところまで管理できておりますので、そういったケースはなかなか起こりにくいのかなと考えております。ですが、御指摘だと思いますので、気をつけて運用してまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

○委員長（大口浩志君） よろしいか。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） さっきの関連ですけど、民間で言うたらログの管理をされてると思うんですけど、市もそういうログの管理ができてるということですね。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） 電算室といいますかデジタル推進班でそういうログの管理をさせていただくようにしております。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） ログの管理ができてるということは、職員の方が例えばインターネットを開いても、何時何分にどのくらい見てるとか、こういったソフトを使ってるのかというのが全部出ると思うんですけど、それはそこの方が全部毎日把握をして、問題があればすぐ通知

してるというか、そういうのをされてるということですね。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） 一概には全てがお答えできないのですが、住民情報に触る端末につきましては、誰がログインをしてどうしたかというまでログを取っております。それを常に眺めているわけではなしに履歴を取っておりますので、誰がどれを見たかという履歴はずっと残っていております。対して、職員が使っているインターネットとかの端末につきましては全てのログが残っているわけではございません。ただ、USBは同じように特定のものと刺さらないという状況にしておりますので、そういった可能性というのは本当に、住民情報についてはありませんし、職員が使っている端末についてはパスワード管理をしているというような状況です。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 多分大丈夫と思うんですけど、例えば今頃グーグルとかで自分の携帯のグーグルとかをパソコンに入れたら同一で見えたりもするんですけど、そういった作業ができないようにはなっとんですかね。そういう決まりとか作ってますかね。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） 特定のアプリケーションとか、例えば赤磐市で言いますと、マイクロソフトエッジであるとかクロームであるとかファイアーフォックスという閲覧ソフトというのは標準的に入っているんですが、その他の不必要なアプリケーションにつきましてはインストール規制がかかってますのでインストールできない仕組みになっている状況です。回答になってるかどうかわかりませんが、そういう状況になっております。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 住民情報が分かるようなものにはログの管理ができていと言われてんですけど、基本的に仕事で使ってる端末はログの管理ができるようにされとったほうが間違いないんじゃないかなと思うんです。そうされないと、やっぱり詳しい方がされると何でもきちゃうところが正直あるんで、これからDXを進めていくにおいても、多分その辺のことをしっかり教えていただきながらやられたほうがいいんじゃないかなと思うんです。安藤副委員長が心配されることは、やっぱりよそでそういうことがあったということは赤磐市では絶対ということはないと思うんですね。だから、ログの管理もただ履歴は残ってるけど、でもじゃあそれを見る人がいなかったら意味がないというか、監視する人がいなかったら意味がないんで。だから、そういった意味ではやっぱり基本に戻ってされとったほうがいいんじゃないかなと思うんですが、いかがでしょうか。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） そういうことが起こらないように考えてもいきますし、今現状そういうふうになっているつもりですが、さらに体制を強化していきたいというふうに考えております。御指摘ありがとうございます。

○委員長（大口浩志君） よろしいですか。

安藤副委員長。

○副委員長（安藤利博君） これは執行部じゃなくて同僚議員の御意見もお伺いしたいんですけど、実は今年公共交通会議で新しい計画を検討する年になってると思うんです。それで、もう頻繁に公共交通会議を開いていただいているんですけど、その資料を我々にも提供いただけないかなと思ってるんです。実は、産建では例の立地適正化計画の検討協議会の資料を出していただいているんですけど、公共交通会議の議事録はホームページで公表されてるんですけど、そこに出されてる資料を見せていただければ、今後そういった計画を検討するときに非常にありがたいんですけど、同僚議員がそんなものは要らんとおっしゃられればそれなんですけど。会議に別添の資料としてアンケート結果とか業者からの回答というのが、議事録から見ればそういった資料を出されてるようなんですけど、そういったのをあらかじめ見せておいていただければ、今度新しい計画をつくる検討に役立つのかなと思ってるんですけど、いかがでしょうか。

○委員長（大口浩志君） 今、安藤副委員長から御提言がありました。

要するに今のは公共交通会議という特定の委員会のことでしたけども、各種、総務だけでもそれぞれの部署でいろんな委員会を抱えておられると思います。今の資料提供については多分ここでこうしろああしろというようなことの結論は出しにくい話かなと思慮します。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 赤磐市議会では、各常任委員長権限があって、ルールで決めとんじゃから。他の委員会の人が資料が欲しい場合は、それから委員長がこれはほかの議員にもという場合は提出するという決まりになっとなんじゃから。今さらそねえな話をするのはおかしい。システムとして決めたんじゃから、決めたとおりにやればええんで。この2年間できてなかっただけで、きちっと今度は決まりどおりやればええんです。

○委員長（大口浩志君） 皆さんの御意見の総意が、要る資料については委員会の前に執行部をお願いをして提供を求めるということでよろしいですか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） お知りになりたい方が希望すればいいのかなと。タブレット導入でペーパーレスという方向で進んでいこうということもありましたし、関心のある議員で担当課へ

申出すればいいんじゃないかなというふうには私は思います。

○委員（松田 勲君） それは駄目じゃろう、委員会としてじゃないとね。

○委員（佐藤 武君） いやいや、委員会としてなんだけど、委員会の委員の意見として言ってるわけだから。

○委員（下山哲司君） 個人でというのは駄目じゃということに決めとんじゃから。会派制をしいたときに、会派として申入れするのはできる。それから、常任委員長の判断ですることとはできる、こういうことにしとんじゃから、それを守らにやいけん。

○委員長（大口浩志君） 一番前段にお話をしましたように、年齢的に言えば重鎮の方、ベテランの方が多いい委員会なので、今こうやって皆様にお諮りをさせていただきましたけども、独善的に委員長権限でやるのもいかがかなという思いもあって、特に今回最初ですので皆さんにお諮りさせていただきましたけども、今ので皆様方の御意見と、システマ的にあまりにも個人情報絡み過ぎるような資料の提出はなかなか正直しんどいものもあるでしょうけども、基本的には今後の委員会審議がより深まるものについては資料提供を求めるということでよろしいですか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 導入した時点では、もう資料は出さない。じゃからそういう別添の資料が出る場合はほかの委員にも提供するということになっとなんじゃから。じゃから委員長がそういう権限ですればええんじゃけ、別に何もトラブルでも何でも難しい話でもない。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 今、安藤副委員長から話があったんですけど、私も今回個人的な質問があるんで議事録見たりもしたんですけど、確かにそういう資料があると思うんです。ただ、毎回毎回出せというわけにはいかないんで、例えば交通会議が今度8月にあるらしいんですけど、それで必要ならば委員長が判断して提供する。その代わりタブレットでPDFで出してくださいという形で、必要かどうかというのは委員長、副委員長で判断をしていただければええと思う。それを毎回毎回出すというのも職員も大変だし、我々ももらってもどうかなというのがあるんで、出せる資料に限り、しかも大きな転換点というか、変更があった場合、そういう話が出た場合は出すという判断でいいと思うんです。毎回毎回出すというたら大変だと思います。それよりは、やっぱり委員長とか会派の代表でもいいんですけど、そういったある程度の判断で、しかも議長を通してということではいかないと収拾がつかなくなると思うんで、よろしくをお願いします。

○委員長（大口浩志君） 皆さん、ありがとうございました。

今、やり取りを執行部の方々もお聞きをしていただいたと思いますが、松田委員からいいキ

ワードもいただいたかなど。大きな転換点を迎えようとするとか、本日の委員会の議案の中では光のネットワークを民間へという話をこれからしていきますというのが、いわゆる大きな転換点の今日の中では一つだったかなと思います。その中で公共交通、こういうお話が出るということは、どちらの地域も年齢層が上がっている、公共交通に対するニーズも上がっているということの裏返しだと受け止めていただいて、今日は公共交通会議のことが出ましたけども、各種所管のいろんな委員会を皆さん抱えておられると思います。その中で、ぜひこれは委員会に報告しといたほうがいいたろうということがあったら、また教えていただいて、最終的には私から議長へお願いをして資料提供を求めるといようなことでこれから2年間させていただこうと思いますが、よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大口浩志君） それでは、そういうことですので、その他についてはもうないようですので締めさせていただきますと思いますが、本日の中でも、先ほど投票率のことであるとか情報が届かない、先ほどは防災無線のことでしたけども、情報が届かない方にはどうしていくかというのは2つとも永遠のテーマだと思いますし、先ほどの情報漏えいの件も永遠のテーマで、一つシステムが上がればまた次の勝手口が開くような部分もあるでしょうから、そういった部分も含めて何か、特に投票率のことであるとかいろいろなことで新たな取組が始まるとか、県的に始まるとか、そういうようなものがあつたら、早め早めに委員会へ情報提供をしていただけたらと思います。

今回はそういったお話が出ましたけども、そのほかのことについても、ちょっとこれは皆さんどう思うんでしょうかというようなことがありましたら、具体的なものではなくてもどう考えられますかというような御提言等を、その他のときにでも我々委員へ投げかけていただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

今日は、委員の皆さん方の質疑にしても、執行部側の答弁にしても、皆さんスムーズに手を挙げていただいて、やり取りがスムーズにできたかなと思っておりますので、こういう形で2年間お願いをできたらと思います。

以上をもちまして総務常任委員会を閉会したいと思います。大変お疲さまでした。

午前11時15分 閉会